

あげきのおひなさん

平成30年2月17日(土)～3月4日(日)

「はなもも会」がまちおこしの一環で毎年開催している「あげきのおひなさん」。今年も、メイン会場ウッドヘッド(9:30～15:30)の大ひな壇をはじめ、おひなさまが町中に飾られ、賑わいます。期間中は、和紙を使った雛飾り、木工教室、ちぎり絵、小物作りなどの体験ができます。また、土日はスタンプラリーも楽しんで頂けます。



- ▶2月24日(土) バルーンアート
- ▶3月4日(日) 着物カフェ(お茶おもてなしあり)、フルーツ生演奏、マジック、着物の着付、貸し出し(無料)

代表: 水元暁美 〇0594-72-2147 (伊藤)

ナンバー募集

障がい者支援の輪 ののはな

障がいがあっても普通に暮らせる支援を行うことを目的として発足。

1. 障がいがあっても地域で普通の暮らしができる支援。
2. 障がい者の自立を手助けする活動。
3. 障がい者の権利と尊厳を守る活動。

当面の間、障がい者家族との交流会を開催し、関係を深めて相談される関係づくりを目指しています。また、要望のある講座などを開催していきます。

私たちと、一緒に活動していただける仲間を募集しています。

〇 ののはな 090-4563-3103 (代表: 木南) または 090-3956-0013 (辻)

ソバ打ち講習会 開催中!

*今年の“年越しそば”は、自分で打ってみませんか!!

*見学だけでもかまいません。

★毎週月・土に開催 受付9:30 開始10:00～ 試食後終了

★場所 員弁健康センター 調理室

★持ち物 上履き、エプロン、三角巾、手拭き3枚、
タッパー等持ち帰り容器

★会費 1,000円

〇 地域おこし協力隊 〇080-1899-4190 (松永)



年末年始の閉館日のお知らせ

12月	25日(月)	9:00～18:00		
	26日(火)			
	27日(水)			
	28日(木)			
	29日(金)			
1月	30日(土)	9:00～17:00		
	31日(日)			
	1日(月)		休館	
	2日(火)			
	3日(水)			
	4日(木)			
	5日(金)		9:00～18:00	
	6日(土)			
	7日(日)			休館
	8日(月)			
9日(火)	9:00～18:00			

いなべ市市民活動センター

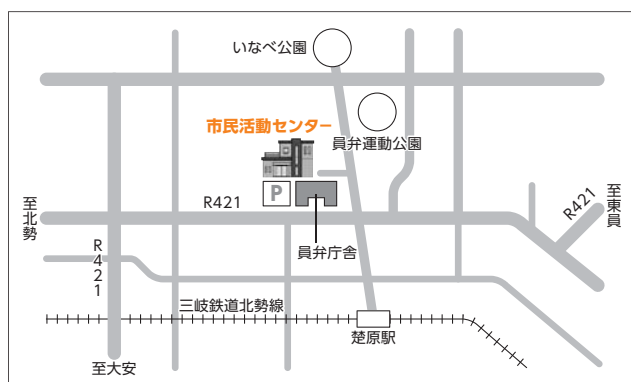
お知らせ

市民活動センターは、12月21日(木)に員弁庁舎裏の員弁老人福祉センターに移転します。22日より平常どおり利用できる予定です。移動日が変更になることもありますので、ご利用いただく際は、電話で確認してください。

〇74-5806 〇74-5834

〇 https://inabeshiminkatu.jimdo.com/

市民活動センターでWi-Fiが使えるようになりました



いなべ市

市民活動センターだより

第37号

平成29年12月



市民が主役、市民がつくる
“いなべのまち!”

発行編集 NPO法人いなべ市民クラブ

〒511-0205 員弁町笠田新田73番地1

〇74-5806 〇74-5834

〇 https://inabeshiminkatu.jimdo.com/



障がいがあっても普通の暮らしがしたい 大安町障がい児(者)を守る会



活動を始めたころのお話を聞かせてください

心身にハンディがある人が、地域で普通に生活できることを願って活動を始め、44年目になります。当初は、特別支援学級の小、中学生と大安町内の障がい者の方々と「カレーの会」や「バーベキューの会」を通して交流を行う活動が中心でした。



どんな活動をされていますか

「カレーの会」は、40年経った今も続いています。この交流会は、食事を楽しむほかに、いろいろな文化を体験する時間を設けています。今年度は、大安中学校出身の小川優紀さんのピアノコンサートを参加者みんなで楽しみました。この会の運営、進行は、会のスタッフほか母の会、民生委員、多くのボランティアの皆さんのご協力成り立っています。いつも感謝しています。

このほかに、11月の「バーベキューの会」、3月の「親子いちご狩り」などを開催しています。どの会も参加者の皆さんが楽しみにしている活動です。

今後の活動の目標は?

障がいがあっても普通の暮らしができるような支援活動を行い、参加者の皆さんが楽しめる交流会を続けていこうと思っています。会員同士の交流や親睦を深める交流会のほか、障がいについて理解を深めるための研修も行います。

活動について関心を持ってくださる方、賛同していただける方は、下記までお問合せください。



〇 大安町障がい児(者)を守る会
090-6574-0351 (渡部)

ここが魅力です!



大安町障がい児(者)を守る会の活動が、40年以上続いているって本当にすごい。熱い想いと、世代をつなぐ取り組みがあつてのこと。スタッフや父母会の信頼関係があつてのことと感心し、支えている方々の想いに感動しました。できることは、いつでも応援したいと感じました。

つながれ!
広がれ! **市民活動の輪**

活動報告

手作りでもてなす交流会
坂本給食ボランティアと童四ツ葉会

坂本地区では、毎月1回、80歳以上の方を招いてお楽しみ会を行っています。10月17日(火)は、藤原町の民話を伝えている童四ツ葉会による紙芝居が披露されました。庄屋の六兵衛が土石流を防ぐために村人たちと堤を築いた物語の「江戸堤」と大嵐から天白井せきを守ってくれた「十六地蔵」を上演しました。

童四ツ葉会のメンバーは元幼稚園の先生たち。紙芝居は自分たちで描いて各小学校や老人会で披露しています。大きな紙芝居は後ろからもよく見え、アテレコや川のせせらぎの音をテープで流して臨場感もあり、物語の様子がよく伝わりました。「そういえば昔そんな話を聞いたことがあるわ」と参加した方々は大きくなずいていました。



紙芝居で盛り上がっている間に、台所では「坂本給食ボランティアの会」が、昼食会の準備で、天ぷらを揚げたり盛り付けたり大忙し。この会では ①お楽しみ会の案内は直接手渡してその方の様子も見届けてくる ②調理したものはお皿に盛りつける ③みんなで一緒に食べる がモットーです。坂本自治会長は「パックに盛り付けたら後片付けが楽になるのではと尋ねたら、メンバーからは『自宅で食べているよう

にもてなしたい』と言うんですよ」と話していました。

この日のメニューは天ぷら、味ご飯、おひたし、ひじきの含め煮、みそ汁。さらに手作りの和菓子がつきました。参加者は「いつも美味しくいただいています。ありがたいですね」と食べていました。地元の高齢者を見守る坂本給食ボランティアの会と地元の民話を大切にする童四ツ葉会。あたたかい活動が盛んで素敵な地域だなあと感じました。



「もどらない もどさない」 更生保護施設「上弁財荘」へ訪問

員弁地区更生保護女性会

犯罪のない明るい社会を目指して地域の子育て交流会を行っている「員弁地区更生保護女性会」。

団体名にもなっている「更生」をより深く知るため、毎年津市の更生保護施設「上弁財荘」へ訪問しています。更生保護施設とは、犯罪や非行により矯正施設に入り二度と同じ過ちを繰り返さないと誓って社会に出てきても、頼る人がいない、当面の衣食住すらままならない人たちのため、住まいと食事を提供し、社会復帰できるまでの一定の期間援助していく施設です。三重県ではこのような施設は「上弁財荘」1箇所だけです。施設長の篠田さんは「近隣住民や更生保護団体さんの理解と協力での施設があります。入所者も地区の清掃活動に積極的に参加しています」と話していました。員弁地区更生保護女性会会員は、「彼らを受け入れる社会は厳しいですが、役立ててほしい」と施設にお米30キロと衣類・生活用品などを寄付しました。



間違えてもいい、ゆっくりでいい!

「にほんご」で話そう発表会

いなべ市国際交流協会いなべ・にほんご広場

いなべ市国際交流協会「にほんご広場」では、主に市内在住の日本語を学びたい外国人のために、毎週土曜日の夜に北勢福祉会館で学習会をしています。日本語を教えるスタッフは、元教師、会社員、自営業、主婦などのボランティアの方たちです。



学習ばかりでなく、春は花見会、夏は七夕会をおこなったり阿下喜の八幡祭りへ出掛けたりして、日本の行事を体感しています。

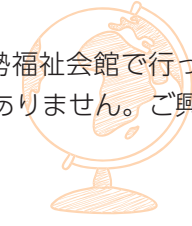
10月14日(土)、「にほんご広場」で学ぶ外国人(学習者)が学習成果を披露するため、日本語によるスピーチ「第1回にほんごで話そう2017発表会」が開催されました。発表者の出身国は、スリランカ、ベトナム、ブラジル、中国、インドネシアとモンゴルなど。自分で頑張って書いた原稿をもとに、参加者はこの日のため練習を積んできました。

インドネシアの男性は信仰する宗教のこと、スリランカの男性は母国のこと、中国の桂林からきた女性は日本に来て感じたこと、もう一人の中国の女性は「日本のアニメが好きです。特に宮崎駿さんの作品が好きで、それが高じて日本へ来ました」と発表していました。一生懸命「にほんご」でスピーチする姿に感動し、飛び入り参加もあって、とても楽しい発表会となりました。



にほんご広場は、毎週土曜 19:30~21:00 北勢福祉会館で行っています。日本語を教えるのに特別な資格は必要ありません。ご興味のある方は、気軽に一度のぞきにきてください。

☎ いなべ市国際交流協会 ☎ 78-4848 (月・水・金 9:00~17:00)



石樽の里まつり 石樽の里コミュニティ

第11回「石樽の里まつり」が11月12日開催されました。今年は石樽小学校創立110周年の節目の年。

110年の歴史を映像と音楽で振り返るオープニングセレモニーや、明治・昭和・平成の3つの校舎の歩みを高さ1.8m×長さ8mの絵巻物にした展示など、節目の年を記念する企画がありました。



老人クラブの竹鉄砲やどんぐりゴマなどの昔の遊び、民生委員の環境をテーマにした体験型イベントに子ども大人も真剣そのもの。校舎狭しと午前の催しが進みました。お昼は里芋入りの「石樽の里カレー」1200人分が振舞われ、午後は石樽保育園、大安中学校、名古屋大学などの発表に体育館は大きく盛り上がりしました。



老人クラブの昔の遊び

一年間の学校と地域との交流の集大成であるまつり。「子どもは地域の宝、地域全体で守り育てる」という活動理念が取り組み全体から伝わってきました。